

**令和5年度
学校評価報告書**

**令和6年1月16日
学校法人都築教育学園
札幌医療リハビリ専門学校**

令和6年1月

「令和5年度学校評価について」

札幌医療リハビリ専門学校
学校長 佐藤正輝

本校では、平成25年3月文部科学省から公表されました「専修学校における学校評価ガイドライン」等に基づき、令和5年度の学校評価を行いました。

本年度の学校評価は、下火となりつつも新型コロナウイルス感染拡大のリスクを回避するため、学校関係者評価を取りやめ、「専修学校における学校評価ガイドラインに基づく学校評価マニュアル」に沿って、全教職員を対象とした「自己評価」と全学生を対象とした学校評価アンケートにより現状を把握して評価結果を取り纏め、「学校評価報告書」により掲載し、公表させていただきます。

今後、本評価結果を真摯に受け止め、改善事項を是正して学校運営・教育活動の更なる進歩向上を図っていく所存でありますので、宜しくお願い申し上げます。

目 次

I 学校の現況	1～2
(1) 学校名	
(2) 所在地	
(3) 沿革	
(4) 学科の構成	
(5) 学生数及び教職員数	
(6) 施設の概要	
II 評価の基本方針	2
III 重点目標	2～4
(1) 重点目標	
(2) 取組状況の成果	
(3) 課題	
(4) 今後の取組み	
IV 令和5年度自己評価結果	5
V 令和5年度学校評価アンケート（全学生集計）結果	6

I 学校の現況

(1) 学校名

学校法人 都築教育学園 札幌医療リハビリ専門学校

(2) 所在地

ア 法人事務局：〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1-10-2

イ 学校：〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西1丁目3-1

(3) 沿革

ア 平成11年4月 札幌デジタル専門学校及び札幌デジタル・アート専門学校開校

イ 平成18年4月 札幌デジタル・アート専門学校閉校

ウ 平成20年4月 札幌医療福祉デジタル専門学校（校名変更）

エ 平成24年4月 札幌医療リハビリ専門学校（校名変更）

(4) 学科の構成

分野	課程	学 科	昼・夜区分
医 療	専門課程	理学療法学科	昼間部
			夜間部
		作業療法学科	昼間部
			夜間部

(5) 学生数及び教職員数

ア 学生数（令和6年1月1日現在）

(ア) 理学療法学科（昼間部）

1年生： 37名 2年生： 32名 3年生： 31名 計 100名

(イ) 理学療法学科（夜間部）

2年生： 12名 3年生： 8名 4年生： 7名 計 27名

(ウ) 作業療法学科（昼間部）

1年生： 20名 2年生： 17名 3年生： 13名 計 50名

(エ) 作業療法学科（夜間部）

3年生： 10名 4年生： 10名 計 20名

総数 197名

イ 教職員数（令和6年1月1日現在）

(ア) 教員数：専任教員 20名、非常勤教員 43名

(イ) 職員数：専任 7名

(6) 施設の概要

ア 総面ガラスの流線形9Fビル、リハビリテーション医療の各種設備を導入

イ 各階の主要設備等

(ア) 1F：水治療室（水治療に関する機器を使用した学習に利用）

(イ) 2F：受付・ロビー（学生の談笑・昼食・自習、部外者来校時の面談等に利用）

(ウ) 3F：キャリアサポートセンター、図書室、PC室（就職情報の提供・就職相談や
図書の貸出、PCの使用等、全学生が自由に利用）

- (エ) 4 F : 中講堂、PC室 (学生集会や各種会場の会場、PCの使用等に利用)
 - (オ) 5 F : 機能訓練室 (動作解析や筋力測定に関する最新機器を使用した学習に利用)
 - (カ) 6 F : 基礎医学実習室 (医学の基礎となる解剖学や生理学の学習に利用)
 - (キ) 7 F : 補装具室(義肢や装具を使用した学習に利用)
 日常動作訓練室(日常生活や生活関連動作の活動分析、訓練方法の学習に利用)
 - (ク) 8 F : 基礎作業実習室① (手工芸等を通じ、活動分析、訓練方法の学習に利用)
 基礎作業実習室② (工作を通じ、活動分析、訓練方法の学習に利用)
 - (ケ) 9 F : 大講堂兼レクリエーション室
 (全校学生集会や国家試験対策セミナー、各種会場の会場等に利用)
- ウ 3 F～9 Fに各学年・クラスの普通教室を設置し、講義を実施

II 評価の基本方針

建学の精神「個性の伸展による人生練磨」及び教育目的「地域医療の発展に寄与しうる有能な人材を育成すること」を達成させるため、教職員による自己評価及び学生による学校評価アンケートにより現状を把握し、改善事項を案出・是正して学校運営・教育活動の更なる進歩向上を図る。

III 各重点目標の評価

(1) 重点目標 ①

項目	内容
重点目標	全学生の進級・卒業、及び国家試験合格率100%の達成
取組状況の成果	カリキュラム教育を完遂するとともに、1年次から国家試験対策として補講等により試験重要科目を補強して、全学年進級、卒業、及び国家試験合格率100%を目指している。令和4年度新卒生の国家試験合格率は、理学療法学科が91.3% (昼間部90.9%、夜間部100%)、作業療法学科が90.0% (昼間部のみ) で、前年度に比して理学療法学科が約10%、作業療法学科が約4%、合格率が向上した。
課題	各学年の進級及び卒業においては、一部の学生の勉学成果不達成による留年・原級留置が存在する。 国家試験については、合格率は昨年度向上しているが、全国平均を下回っており、今年度目標100%合格に向けて学生、教員一丸となって努力中である。
今後の取組み	進級・卒業については、修学不十分な学生に対する総合的な指導の継続を実施して、全学生の進級・卒業をバックアップする。 国家試験については、国試対策班による総合的な指導(学力に応じた個別指導、各種共通模試等による学力確認、弱点等に応じた個別指導等)を計画的・継続的に実施して100%合格を目指す。既卒生の国家試験受験希望者については、学力の見極めに基づいた卒業後教育を継続する。

(2) 重点目標 ②

項目	内容
重点目標	資質教育の強化
取組状況の成果	医療人としての資質向上の第一歩として、教職員による積極的な挨拶、躰指導の強化を図った。
課題	授業態度不良や飲食物の放置、約束事項・時間を守らない等の学生が一部に散見される。
今後の取組み	担任教員のみならず、全教職員が教育・校内生活の場を通じて、その都度、個別指導を実施するとともに、日常から医療人・関係者としての範を示すよう意識して勤務する。

(3) 重点目標 ③

項目	内容
重点目標	学生生活支援の強化
取組状況の成果	学校での勉学や学生生活の準拠として、新生に学生便覧を配布するとともに、奨学金支援、健康管理支援、アルバイト支援、J R・バス等の学割申請支援、証明書等の発行等、各種支援施策により学生生活を支援した。 また、スクールカウンセラーにより、学生の生活面での悩み等のカウンセリングを実施して、その改善に寄与した。
課題	金銭的に余裕のない学生が時間的に厳しいアルバイトを実施することにより学生の本旨である勉学がおろそか（授業中の居眠り等）になり成績不良となるケースがある。
今後の取組み	次年度も上記の取組みを継続する。 担任教員は、学生の生活・学習環境の把握を継続的に実施して、不適切と思われる学生との対話を密に取って生活指導、学習指導を適宜に実施する。

(4) 重点目標 ④

項目	内 容
重点目標	1 新型コロナウイルス感染防止・予防 2 教場・設備等の整備及び教材等の充実
取組状況の成果	1 前年度から継続して新型コロナウイルス対策として衛生環境・感染予防環境の維持・整備を行った。授業に当たっては、新型コロナウイルスの市中感染状況や学生・教職員の健康状況を継続的に確認しつつ、感染者のオンライン授業参加等、3密回避及び一般的な感染予防対策を徹底して、校内での感染者及びクラスター発生の未全防止を図った。 2 教育環境の維持・改善のため、新規教材・消耗品の調達、老朽・不要教材の処分及び学生ラウンジ整備等を行い、環境改善を図った。
課 題	1 昼休みや下校時などの気が緩みやすい時期における学生間の3密回避が不十分な状況が一部に散見される。 2 施設・設備面として、一部電気系統の不良状態及び不要教材の未処分状態が継続している。
今後の取組み	1 市中の感染状況に応じた感染予防・拡大防止のための3密回避、マスク・手指消毒の徹底等、全教職員による継続的な注意喚起・指導を行っていく。 2 中・長期的な施設・設備整備計画の策定とともに、予算を効果的に運用して不具合箇所の整備、不要教材等の処分を進める。

(5) 重点目標 ⑤

項目	内 容
重点目標	事務（経理）業務の効率化・合理化、適性化
取組状況の成果	事務長以下の事務組織を維持、学校印管理を確実にするとともに、規程に基づき経理業務を実施した。また、新校務システムを活用して学納金の管理を確実に実施した。 また、日直職員巡回による不要照明・空調等の節電、印刷・配布物の精選による紙・インク経費の節減、校用車利用奨励による旅費の削減等、管理経費の節減を図った。
課 題	学納金を決められた時期までに納入しない学生が依然存在する。（様々な理由があるが、延納処置を実施しない学生も多数存在）
今後の取組み	次年度も上記の取組みを継続する。 また、学納金未納者（納入遅延者）に対しては、早期からの注意喚起と家庭との連携の保持に留意する。

Ⅳ 令和5年度自己評価結果

○ 評価項目に対して4段階（「適切：4点」「ほぼ適切：3点」「やや不適切：2点」「不適切：1点」）で評価し、教職員の平均点を評価結果として表示した。

区分	連番	評価項目	平均点
教育理念・目標	1	学校の理念・目的・育成人物像は定められているか	3.28
	2	医療専門学校として医療人教育がなされているか	3.08
	3	理念・目的・育成人材像・特色などが教職員・学生・保護者等に周知されているか	2.80
学校運営	4	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.76
	5	教員会議及び事務職員会議は適正かつ効果的に開催されているか	3.00
	6	教職員会議は適切かつ効果的に開催されているか	2.68
	7	学則等諸規定の整備、見直しは適正に行われているか	3.16
	8	コンプライアンス体制が整備されているか	2.80
教育活動	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.00
	10	教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針等が策定されているか	3.04
	11	教育到達レベルを目標とした教育や学習時間の確保がなされているか	3.24
	12	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.12
	13	医療人の職業教育という視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.04
	14	関連分野における実践的な職業教育（実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.08
	15	授業評価の実施・評価体制はあるか	2.24
	16	職業に関する部外関係者からの評価を取り入れているか	2.36
	17	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	3.16
	18	国家資格取得に関する指導体制を体系的に明確に位置づけているか	2.88
	19	教育理念、教育目標の達成に向けて、授業を行うことができる要件を備えた教員及び教材を確保しているか	2.92
	20	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.72
修学成果	21	国家資格取得率の向上が図られているか	3.16
	22	就職率の向上が図られているか	3.36
	23	退学率の低減が図られているか	3.16
	24	卒業後のキャリア形成の効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2.80
学生支援	25	学生相談に関する体制は整備されているか	3.44
	26	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.24
	27	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.24
	28	保護者と適切に連携しているか	3.20
	29	卒業生への支援体制はあるか	2.72
	30	関連業界との連携によるキャリア教育の取り組みが行われているか	2.80
教育環境	31	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.96
	32	学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.80
	33	防災に対する体制は整備されているか	3.16
学生の受入れ募集	34	学生募集活動は、適正に行われているか	3.20
	35	学生募集活動において、教育・修学成果は正確に伝えられているか	3.24
	36	入学選考は、適正に行われているか	3.12
財務	37	財務について会計監査が適切に行われているか	3.29
法令等の遵守	38	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.24
	39	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.08
	40	自己評価の実施・結果の公表及び問題点の改善に努めているか	3.00

V 令和5年度学校評価アンケート（全学生集計）結果

区分	連番	項目	■ よくあてはまる ■ あてはまる ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない			
			よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育活動	1	教員は、学生の悩みや相談に応じている。	34.0%	54.8%	6.9%	4.3%
	2	教員は、社会人としてのマナーや基本的な生活習慣が身に付くように指導を行っている。	31.4%	54.8%	11.2%	2.7%
	3	教員は、専門職としての職業観を育成する教育を行っている。	40.4%	52.7%	5.3%	1.6%
	4	教員は、授業を年間計画(シラバス)の内容通りに行っている。	29.9%	56.7%	10.7%	2.7%
	5	教員は、学習目標を明確にした授業を行っている。	26.9%	59.7%	10.8%	2.7%
	6	教員は、ポイントを的確に押さえた授業を行っている。	26.2%	63.1%	9.1%	1.6%
	7	教員は、学生に対して親身な指導を行っている。	36.0%	52.2%	9.1%	2.7%
	8	教員は、わからない点について、個別指導により対応している。	33.9%	55.9%	7.5%	2.7%
	9	教員は、提出された課題などについて、粘り強く指導している。	25.1%	59.9%	13.9%	1.1%
	10	教員は、臨床実習に替えて学内演習による指導を十分に行っている。	29.7%	57.8%	10.2%	2.3%
	11	教員は、学生に対して公平かつ正確な成績評価を行っている。	32.8%	57.5%	8.6%	1.1%
	12	教員は、成績不振者への指導・支援を十分に行っている。	36.0%	51.6%	9.1%	3.2%
サポート体制・教育環境	13	学校は、国家資格取得に関して指導体制は整備され、機能している。	28.1%	59.5%	9.7%	2.7%
	14	学校は、学生の経済的側面に対する支援が整備されている。	22.8%	54.9%	16.3%	6.0%
	15	学校は、学生への健康管理体制が整備されている。	26.6%	56.0%	16.8%	0.5%
	16	学校は、保護者との連携がとれている。	15.8%	54.1%	19.7%	10.4%
	17	就職活動において、学生が主体的に選択できるように情報の提供が行われている。	28.6%	55.4%	12.5%	3.6%
	18	就職活動に対する指導体制は、整備され機能している。	25.0%	55.4%	17.9%	1.8%
	19	学校の施設設備は、清掃され、清潔であり、よく整備されている。	41.2%	47.1%	9.1%	2.7%
	20	学校は防災に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮している。	34.9%	57.5%	5.4%	2.2%
自己の修学態度等	21	私は、授業の予習・復習を行っている。	12.8%	54.0%	25.7%	7.5%
	22	私は、教科書・ノート・辞書などの教材を準備して授業に臨んでいる。	29.9%	57.8%	10.2%	2.1%
	23	私は、私語や居眠りなどはせず授業に集中している。	19.5%	55.7%	23.2%	1.6%
	24	私は、わからないことがあれば質問するようにしている。	18.2%	53.5%	23.5%	4.8%
	25	私は、課題の提出期限を守っている。	39.0%	51.9%	8.0%	1.1%
	26	私は、授業中のグループ活動に積極的に参加している。	31.7%	53.8%	12.9%	1.6%
	27	私は、実習に対して積極的に取り組んでいる。	35.3%	55.4%	8.2%	1.1%
	28	私は、この学校に入学してよかった。	21.5%	59.7%	14.0%	4.8%